

監査報告書

令和6年5月10日

社会福祉法人鳥栖市社会福祉協議会
会長 天野昌明様

監事 松隈俊久



監事 佐藤純雄



社会福祉法人鳥栖市社会福祉協議会定款第20条の規定による令和5年4月1日から令和6年3月31日までの令和5年度の理事の職務の執行及び財政状況につきまして、監査を行いました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告等（事業報告及びその附属明細書）について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）及び財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

① 事業報告等の監査結果

- 一 本年度、鳥栖市から「生活支援体制整備事業」を受託し、地域住民の支え合い活動等を推進するため、各関係機関と連携を強化し、安心して暮らすことが出来る事業として実施されている。
- 二 新型コロナウイルス感染症は落ち着いてきた状況であるが、孤立化はまだ続いている。このような中で孤立防止の支援として、家族を含めた交流会やスポーツ大会への参加、農業体験等を中心として引き続き「ひきこもり支援事業」を実施されている。
- 三 事業報告等は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 四 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

② 計算関係書類及び財産目録の監査結果

- 一 計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況等全ての重要な点において適正に示しているものと認めます。

全角スペース